# 戸田市 施策評価シート

作成日	│ 令和 3年 6月17日	作成者名	亀井 亨	評価者名	栃本 由兼
IFA	ן וועס דיס אוינו		100		WIT HAK

#### 1. 施策の位置づけ *<PLAN>*

	T-1-14	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	消防本部・消防本部警防課
I		01 消防・救急	関係課	消防署・消防第1課 消防署・消防第2課
I	施 策	29 救急体制の充実	関係体	消防署・消防第3課
	施策の目的	救急救命士の専門的な教育制度を充実させ、救急にお	ける市民の救命	率向上を図るため、救急体制の充実を図ります。

## 2. 施策の主な取り組み *<DO>*

	·
取り組み①	救急業務費
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果(主な指標) < CHECK>

+℃+亜 <i>夂</i>	指標の説明	単位 目標	口捶仿	達成値						
指標名	( 算定式 )		日保旭	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H30	R 1	R 2	
バイスタンダーによる応急 手当実施率	心肺機能停止傷病者に対する、バイス タンダーによる応急手当の実施率	%	50	45	45. 9	37. 9	43. 8	59. 1	44. 8	
救急協力事業所表示制度の 認定数	同表示制度の認定数	件	130	50	68	128	133	135	136	
特定行為取得者数	救急救命士数に対する特定行為取得者 (ブドウ糖投与等処置拡大資格者数 )	%	85	41	78	91	93	89	95	
その他施策の取組事項に係る成果										

#### 4. 施策の展開 *<ACTION>*

・救命講習に関する市民の積極的な参加と、市内の事業所などに設置されているAEDを市民誰もが使用できる環境づくりが 重要である。

課・感染症が

- ・感染症が大流行した場合の感染予防関係消耗品の備蓄
- ・市民の高齢化、増加に伴う救急要請の増加対応

題

応急手当の実施率を向上させる。また、市内の事業所等に設置されているAEDを市民誰もが使用できる環境作りを進める。 対 ・感染症予防関係予算を増し適切な備蓄を行う。

・各種救命講習の受講者数増加を図り、バイスタンダーによる

救急隊の増員を行う

#### 〇結果と今後の方向性 (シート作成次長記入)

進捗状況		・バイスタンダーによる応急手当の実施率がコロナ禍による影響により目標値を下回った。
(A躍進中、B予定通り、C遅れ気味)	説明	感染防止の観点から考察すると致し方ないものであると推測する。
В	(総評)	・令和3年度より東部分署に救急隊1隊を増隊した。
		・その他予定のとおり進んでいる。
今後の方向性(人員/予算)		・新型コロナウイルス感染症の流行を教訓に今後の対応として、N95マスク等の感染予防対
(↑増加、→維持、↓削減)	説明	策物品の購入増加及び令和3年度より救急隊の増隊がされたことから人員及び予算の増加が
<b>^</b>	(人員/予算)	必要。

応策

#### (評価者コメント)

バイスタンダーによる応急手当の実施率が コロナ禍の中、感染防止の観点から考察すると致し方ないものであると推測する。 応急手当の普及啓発については、コロナ禍を踏まえ感染予防対策を徹底し推進する。

# 戸田市 施策評価シート

作成日 令和 3年 6月17日 作成者名 亀井 亨 評価者名 栃本 由兼

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位:千円)

事務事業名			事務事業評価の結果						★事務事業のプ			サネのカドル	R		
		R2決算額					評価結果				16		4	事業費	
事業コード	事業	R3予算額	事業	実   施	施			受益	争業	事   実 業   施	施策				
事業内容	事業区分	R	R 事業費	ത	のし計し	策への	施策への貢献度	事業		事業の方向性	事業の方句生に表現の対象を	内愿	コメント	予	うち
	分	4  計	うち一般財源	向性	候	可して		手	担の公			先		算	
		画額	人件費	11±	-   作用			本 性	章 性			度		額	一般財源
医療機関との連絡調整事業	(消)	<b>防本</b>	部総務課)												
救急医療機関との連絡調整事	- 義 - 務		0												0
業			0							1					U
01 xx xx xx xx 00		0 9	9		В	В	Α	В	9	)	終				
救急現場において心肺停止状			0											0	
態の患者に対し、救急救命士			0												
業務推進事業 (警防課)															
救急業務推進事業			13, 142										令和3年度より救急		0
	義務		11, 245							4			業務推進事業に業務		U
01 09 01 01 06 01			11, 245	4	0	Α	A	Α	Α		0	義	名を変更し救急医療		
救急業務に係る資機材の整備			7, 712										機関との連絡調整事		0
、救急救命士の専門教育及び			4, 501										業を統合		
	医療機関との連絡調整事業 対急医療機関との連絡調整事業 201 xx xx xx xx xx 00 対急現場において心肺停止状態の患者に対し、救急救命士業務推進事業 (警防課) 対急業務推進事業 201 09 01 01 06 01 対急業務に係る資機材の整備	事業内容    医療機関との連絡調整事業 (消度 改急医療機関との連絡調整事業	事業内容   計画額	事業内容     計画額     うち一般財源 人件費       医療機関との連絡調整事業     (消防本部総務課)       改急医療機関との連絡調整事業     0       01	事業内容     計画額     うち一般財源 人件費       と療機関との連絡調整事業     (消防本部総務課)       改急医療機関との連絡調整事業     0       01 xx xx xx xx xx xx xx xx 00 数急現場において心肺停止状態の患者に対し、救急救命士     3       改急業務推進事業     (警防課)       改急業務推進事業     13,142 11,245 11,245 245 245 38 38 38 38 38 38 38 38 38 38 38 38 38	事業内容     計画     うち一般財源 人件費       と療機関との連絡調整事業     (消防本部総務課)       改急医療機関との連絡調整事業     (消防本部総務課)       201	接	「	医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課) 対急医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課) 対急医療機関との連絡調整事業 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	複	医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課) 数急医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課) 数急医療機関との連絡調整事業 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課) 改急医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課) 数急医療機関との連絡調整事業 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課) 改急医療機関との連絡調整事業 (消防本部総務課) 数急医療機関との連絡調整事業 0	類	握  人件費   一

		R2決算額	R3予算額	R4計画額	R4予算額
計(千円)	事業費	13, 142	11, 245	11, 245	0
	うち一般財源	13, 142	7. 712	7, 712	0